

2018年1月12日

丹波市立中央小学校
校長 安田 和仁

2017年度

生活科・人権総合発表会のご案内

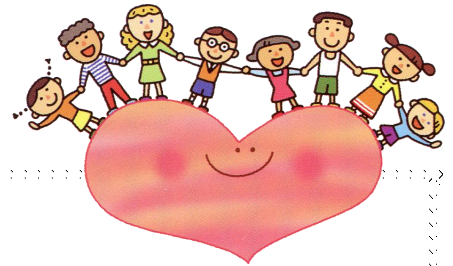
～ 自分が好き 家族が好き 仲間が好き 地域が好き ～

本校では、人権尊重の校風づくりをめざし、中央地区に生きる子どもとして身につけさせたい力を学年ごとに設定し、生活科・人権総合学習を進めています。この度、取り組みの一端をお見せする発表会を下記のとおり計画いたしました。

地域・保護者の皆様方には、本校の人権・同和教育の取り組みや総合的な学習の時間の内容を理解していただくとともに、人権について一緒に考えていただく機会となることを願っております。

つきましては、公私ご多用とは存じますが多数の方にご来校いただき、発表の内容や子どもたちの姿をご覧いただきたく、ご案内申し上げます。

記



1 テーマ 「自分が好き 家族が好き 仲間が好き 地域が好き」

2 日時 2018年1月27日(土) 8:25~12:15

【予備日 1月30日(火)~2日(金)

の朝の時間(8:10~)

※学級閉鎖の学年のみ、予備日に行います。

詳しくはその際ご連絡いたします。

3 日程・場所

1年	8:25	~	8:55	多目的室
2年	9:00	~	9:30	多目的室
3年	9:35	~	10:05	多目的室
4年	10:15	~	10:50	体育館
5年	10:55	~	11:30	体育館
6年	11:35	~	12:15	体育館

1年 「じぶん大すき」

～たいせつなわたし たいせつなあなた たいせつなかぞく～

名前の由来や小さい頃の様子を聞くことで、家族の願いや思いを知り、一人一人が大切な存在であることに気づきました。これらの学習を通して、自分を大切に育ててくれた家族に感謝するとともに、自分や友だちを大切にしていこうとする気持ちを高めていきたいと思えます。自分・友達・家族のつながりを見つめて、感じたことを発表します。



2年 「この町（中央）大すき」

～家族や地域ではたらく人々のがんばりを見つけよう～

成松商店街で働く人々の様子を見学したり、インタビューしたりして、働く人の努力や工夫、願いについて考えてきました。そして、家族の人の仕事内容や働きながら思っていることを聞き、さらに学びを深めてきました。自分をとりまく多くの人々のがんばりを見つけ、学習する中で気づいたことや、自分たちにできることは何か、話し合っただけで考えたことを発表します。



3年 「町のたから」を調べよう

中央地区にもたくさんある、人々の思いや願いが込められた「町のたから」。その中の、氷上文化センターと植野記念美術館を実際に見学し、話を聞きました。施設の歴史や秘密、込められた願いを知っていく中で、感じたことやこれからの自分たちにできることは何かを話し合い、気づいたことや考えたことを発表します。



4年 「河川改修」～みんなの幸せのために～

佐治川の河川改修の学習を通して、先人の努力が現在の生活に生きていることを知りました。河川改修に対する太田顕太郎さんや地域の人たちの願いや想いの大きさに気づけるように、太田顕太郎さんのご家族からお話を聞き、より身近なものとして考えてきました。河川改修に込められた願いと今の自分たちの生活につなげて考えたことを発表します。



5年 「みんなが幸せに生きるために」

～わかば保育園に込められた願い～

わかば保育園を立ち上げた人々の生き方から、地域の人々の暮らしを良くしていこうとする強い思いに気づきました。そこから、現在の中央地区自治振興会の活動が地域の「和」を作るための活動であることを学びました。中央地区の人々が受け継いできた思いを伝えると共に、これからの自分たちの生き方で大切にしていこうとすることを発表します。



6年 「人々の生き方から人権を学ぶ」

人権の歴史を学ぶ中で、差別の不合理さや偏見のおろかさに気づきました。そして、人々の生き方から、差別に立ち向かっていく熱い思いや努力、苦勞を学びました。特に、心を動かされた西光万吉の生き方を劇で伝えます。また、自分たちの生活を見つめ直し、これからの生き方を人権宣言として発表します。



